

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 地域でくらす会 いくのさん家	理事長	井上徹	法人・事業所の特徴	法人の理念 <ul style="list-style-type: none"> ・関係性こそ、その人らしさ ・どう生きたいか、に立ち返る ・ひとりの支援は、地域を変える この理念をもとに、高齢者が自分らしく生活できるよう支援していきたい。そのために住み慣れた地域での社会生活が孤立してしまわないように信頼関係を作り、関係を深めていきたい。施設の中で支援をするだけでなく、家族や地域・医療など本人を取り巻く様々な関わりが途切れてしまわないように努力する。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 大郷いくのさん家	管理者	大坪 真美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	2人	3人	1人	3人	1人	0人	1人	1人	13人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の職員が、利用者さんの暮らしぶりや生活暦、社会資源を知る為に訪問する時間を毎月1回以上つくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よくやっていると思います。 ・計画が抽象的だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が利用しているわけではないので評価が難しい。 ・常勤の職員の数が分からない。 ・初めて参加したので難しかった。 ・評価の中で分かりにくい表現があったので教えてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の改善計画は具体的かつ分かりやすい表現にする。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・入りやすいと思ってもらえるように、行事に招待したり、地域の行事にもっと参加して人間関係を築く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・散らかっている時もある ・よく取り組んでいると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・以前の事をしらないので比較はできませんが、現在の状態は良い環境になっていると思う。 ・利用者さんの生の声を聞いたことがないので判断に困った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・しつらえ、環境は良い状態なので、これを維持する。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と繋がりが強い団体と協働し、地域貢献できることを考える。 ・地域にある病院で介護相談窓口を定期的に開設する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・改善計画の進捗状況を聞く機会がなかった。 ・地域の行事にはよく参加していると思う。 ・よくやっていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口開設は月に1度のペースでもよくやっていると思う。 ・看板の位置を分かりやすい場所にしてはどうか？ ・利用者さんではない人もことも会議で触れられることがあるので、頑張っておられると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域にある病院や施設で介護相談窓口を定期的に開設する。 ・大学の実習（まちの保健室）を通して地元の団体と協働し、つながりを持つ。

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者さんの個別のケースに応じて、近所の方やとなり組福祉員さんなどに声掛けをお願いすることで、地域の方と一緒にあって利用者さんの暮らしを支えられるように支援をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事などは良く参加できていると思う。特に利用者さんの地域の敬老会に参加するのは他では聞いたことがないのですごいと思う。 ・利用者さんではない人もことも会議で触れられることがあるので、頑張っておられると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・こういう会議で話に上がっているのは地元住民としてはありがたいと思う。 ・地域の人も事業所がかかわることで心持が変わると思う。事業所は垣根が高い印象があるが、それを崩していこうとする姿勢もあると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方と一緒にあって利用者さんの暮らしを支えられるように支援するために、積極的に地域の方と話たり、関わる機会をつくる。
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議を利用者さんの支援や地域課題の解決に活かせるようにする。 ・運営推進会議で事例検討を通してもっと色々な方と関れるようにする。 ・利用者さんの地域の方への働きかけを継続する。(見守りや異変があった時に連絡をしてもらうように協力をお願いする) 	<ul style="list-style-type: none"> ・よくやっていると思うのでこれを継続してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人暮らしを家の中まで考えるというのはとても大変なことだと思う。 ・ここいない人(利用がない人)のことまで気を付けないといけないのかな?と思う。悪い意味ではなく、そこまでしないとだめなの?という意味で。 ・大きな施設と違って近寄りやすい印象はないです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議で利用者さんの支援や地域課題を提起して、一緒に考えてみる。 ・運営推進会議の事例検討を通して色々な人と関われるように考える。
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練、避難訓練の日時を伝えて、運営推進会議のメンバーや地域に住んでおられる方などの参加を募る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・委員に向けての訓練の案内がなかった。 ・防災計画は年度初めの会議で閲覧できるようにしてあったと思うが、それ以外には機会がなかった。 ・災害時は近隣の住民に避難の協力をお願いすることが多いと思うので、頼りできない。 ・資料で地元の方と一緒に訓練をしていることがよく分かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の地域では備品としてヘルメットや拡声器、リアカー、発電機を購入しているところが多いです。 ・何かあった時は訪問機能を使って安否確認をしておられるので、小規模ならではだと思う。 ・被災した時のことを考えると、介護の専門職がいるのは安心感がある、という意見を聞いたことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災、避難訓練はできるだけ地元の人や運営推進会議のメンバーも誘って行う。

